

米國で建造の特務艦 「神威」は桑港に寄港

日本に廻航途次寄港するやう

三井支店より交渉電報を打つ

日本海軍に革命を起す電氣船

特務艦「神威」受取りの爲め紙装

由東行したことは既報の如

ある、同艦は

同大佐艦長として之を指揮し

日本に廻航す、守だが其這次桑

港にも寄港することであらう、

此消息に就て三井支店

長手鳴氏は語る、「神威」と書いて

カモイと讀まして居るが同艦は

巴奈馬運河經由通航の際、是非

桑港にも

寄港するやう私の店から

打電してねたが多分之が實に

現るよであらう、米國で出来

機を裝置したもので日本の海運

は此意営に於ても大に意義の運

動機となり得て同艦の運

機を用ひて好結果を収めて以

て此推進

は此意営に於ても大に意義の運

動機となり得て同艦の運

機を用ひて好結果を収めて以

て此推進

は此意営に於ても大に意義の運

動機となり得て同艦の運

機を用ひて好結果を収めて以

て此推進

は此意営に於ても大に意義の運

動機となり得て同艦の運

機を用ひて好結果を収めて以

て此意営に於ても大に意義の運

動機となり得て同艦の運

機を用ひて好結果を収めて以

空飛ぶ人

北尾逸男

英語教授



かほばこ

此靴は羅府東京商會の柏木氏が日本人向きて完成した靴であります。數週以前より申上げた通り其型は特に日本人に適ふ様に製してあります。バイキ靴ははき心地がよくて實用的であります。

靴の上部は『オロ』といふ永くはいても決して硬くならぬ革を用ひてあります。

此靴は手袋の様に足にヒツ附きそして上部が柔かで快く而も實用的であります。

金門商會

六

月

日

年

大正二年三月二日

(八)

【其四十六】

郵便飛行は成功裡に完成した

が、本人同士は元より皆は果し

て誰が一等か村上か、取三かと

云ふ事に頭を痛めた。

一機がスタートしたのは僕の時

計で、二時十七分だった。それ

から此處に着いたのが、三時二

十五分だったから、丁度一時間

八分だ。

そ、収三が云つた。

「一時間八分? それから東京名

古屋間が一時間三十三分でした

ね? うれを加へる三十四回四十

一分です。じや、一つ村上さんの

方を計算して来ませう。」男は

何處かの新聞記者らしく、日は

から精確な時間が分もないので

云ひ捨て走り去つて行つた

が、やがて失望したやうに歸

つて来て、玄國へ走り出で来た

う云ふかうにやつて船橋へ歸つた

船橋へ歸つた。

その時によう既に外の飛行機

時代錯誤だよ。飛行機は立派な

交通機関だからな

と、村上は例の調子で悠々と

答へて、ある日の朝、山の頂が

くつきと青空に映られてゐ

る時には、

しみに徹いてゐます。樂しみは

何を要りません。樂しみは

り思ひましたりでは逆も食して

行かれません。貴郎のやうにし

か】まあ其様のです。何を樂

るか】まあ其様のです。何を樂

るか】まあ其